

# YOKOSHIN NEWS

平成 30 年 12 月 27 日  
横 浜 信 用 金 庫

## 《よこしん》景気動向調査結果について

—平成 30 年 10～12 月期実績、平成 31 年 1～3 月期予想—

横浜信用金庫(理事長 大前 茂)では、定例(四半期)の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

### 【業況判断DI】

#### (全業種総合)業況判断 DI は改善、来期は悪化するもプラスを維持する見込み

- 今期(平成30年10～12月期)の全業種総合業況判断DIは、前期比2.5ポイント上昇の9.0と改善した。来期は、今期比0.4ポイント低下の8.6を見込んでいる。
- 製造業の今期業況判断DIは、前期比1.5ポイント上昇の14.0となった。来期は、今期比2.3ポイント上昇の16.3を見込んでいる。
- 非製造業の今期業況判断DIは、前期比2.9ポイント上昇の6.5となった。来期は、今期比1.7ポイント低下の4.8を見込んでいる。

### 【特別調査】「2019年の経営見通し」

- 日本の景気見通しについて「普通」(61.1%)、次いで「やや悪い」(18.8%)
- 自社の業況(景気)見通しについて「普通」(65.6%)が最多回答
- 自社の売上額の伸び率について(2018年比較)「変わらない」(56.1%)が最多回答
- 自社の業況が上向きになる転換点の時期について「既に上向いている」(26.3%)、「改善の見通しは立たない」(25.4%)

[特別項目:自然災害・異常気象と経営への影響]

- 自社の経営について、最も影響を受けた自然災害や異常気象について「特にない」(50.0%)、次いで「台風・豪雨」(32.9%)
- 自社の経営について、自然災害や異常気象により受けた影響で最も当てはまるものについて「影響は受けなかった」(43.0%)、次いで「仕入・調達・納期の遅れ」(22.4%)

#### <調査概要>

調査対象:当金庫取引先(法人・個人事業者)774先 有効回答数:756先  
調査方法:各営業店職員による聞き取り調査 調査時期:平成30年12月上旬

※その他詳細につきましては、「《よこしん》HP⇒法人のお客さま⇒景気動向調査」をご覧ください。

\*本件に関するお問い合わせ先\* 総合企画部:汐見、石井 電話:045-680-6912



横浜信用金庫